

## 第4学年2組 国語科学習指導案

指導者 教諭 沖田 一美  
場 所 ふれあいルーム

### 1 単元名 『つなしの会』で将来の夢を発表しよう！

～お仕事リーフレットを作ろう～

「アップとルーズで伝える」「クラブ活動リーフレット」を作ろう（光村図書4年下）

他 職業に関する図書など

### 2 単元を通して位置付ける言語活動とその特徴

#### (1) 付けたい力と単元を通して位置付ける言語活動

本単元では、まず目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むことをねらっている。さらにその読み取りを用いて、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を構成し、収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書くことをねらいとしている。

単元を通して位置付ける言語活動として、「写真を使って説明するガイド」を作り、それを活用して、最終的に「お仕事リーフレット」を作る活動を位置付けた。「お仕事リーフレット」では、収集した資料を効果的に使い、写真と文章で自分が将来就きたい仕事についての「仕事内容」「その仕事の魅力・やりがい・就きたい理由」「その仕事でのめざす人物」などを中心に紹介していく。さらに、12月に行われる『つなしの会』

（2分の1成人式）において「お仕事リーフレット」を活用し、保護者の方々や地域の方々の前で「自分の将来の夢」を発表するという最終目的をもつ。単元を通して意欲的に取り組むことのできる言語活動であると考え。

#### (2) 言語活動がもつ特徴

写真と文章を対応させて読みながら対比的な段落関係をつかみ、説明されている内容を読み取っていくことは、普段目にする新聞や雑誌などで自然と身に付いているものと思われる。その読み方を敢えて取り上げ詳しく分析していく中で、学んだことを意識して写真を効果的に使い、説明する力を身に付けていく。

「お仕事リーフレット」では、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて、写真と文章を関係付けながら、理由や事例を挙げて書くことができる。また、限られた紙面の中で多くの情報の中から、自分の意図に沿うものを効果的に選び説明していくことができる言語活動である。

#### (3) 単元の目標との結び付き

#### 言語活動ツール①「写真を使って説明するガイド」のモデル

それぞれの段落の役割を理解し、筆者の伝えたいことを理解している。 【読(1)イ】

写真と文章を対応させながらアップとルーズについて読み取っている。 【読(1)エ】

分かりやすく説明するための文章構成を理解し、使いたい言葉を見付けている。 【読(1)イ】

①写真を選ぶポイント

写真を選ぶポイントとは、  
① 伝えたいことを かくにん。  
② アップの写真かルーズの写真かを 考える。  
③ 人の表情、うつっている物をチェックし、伝えたいことに合う写真を えらぶ。

写真を使って説明するガイド

ルール	アップ	ルーズ
伝えたいことを かくにん。	細い部分の模様や、うつされていないものを 部分のことが分かる。	顔つきや視線、表情が 分かる。
アップとルーズの 違いを 知る。	アップは、細い部分の模様や、うつされていないものを 部分のことが分かる。	ルーズは、顔つきや視線、表情が 分かる。

②説明するポイント


説明するポイントは、  
① 「はじめ」の「おはよう」の 構成を しくり 考える。  
② 中「は、仕事内容、仕事の 魅力、やりがい、その仕事で したい理由、めざす人物」  
「あこがれの選手」など、 選んで説明する。  
③ 写真（一い）めたり、一い 添えする。

〇説明するポイント (リーフレットに四六段落で説明する。)


終わり	中	はじめ
もう一度、その仕事について、このように ことば、自分、思いをのべる。	写真を使って、仕事について、 かくにんして説明する。 〇〇さんは、 また、	中で説明することを かんたん に説明する。 〇〇という仕事は、 上の写真に、 〇〇の仕事は、 〇〇さんは、

## 言語活動ツール②「お仕事リーフレット」のモデル

「毎日学生新聞」のよう  
ハ托 四年二組  
沖田 一美



セツ道具



生後110日の赤ちゃんと助産師さん

# 助産師さん

このように、助産師は、ようこびいばいのやりがいのある仕事です。わたしは、しょう来助産師にならるよう、今からしっかり勉強していきなと思ひます。

上の写真は、十二日前に取上げた赤ちゃんと、助産師さんの写真です。赤ちゃんとすくすく育ち、助産師さんのやさしい笑顔がいんしょう的、この仕事、のやりがいは、出産後のお母さんのじゅう実した顔を見た時や、赤ちゃんとすくすく育ち、助産師さんのやさしい笑顔を見ている時、だそうです。

わたしは、しょう来のゆめは、助産師です。助産師という仕事は、お産を助けるお母さんをサポートする仕事です。

【初め】

将来の夢と「中」で説明する「将来の夢」のなりた理由について、簡単に説明する。

【中】

写真と対応させて、その仕事について詳しく説明する。

【終わり】

まとめの文章で、改めてその仕事のよさについて書く。さらに自分の思いも書く。

文章を「初め・中・終わり」に構成し、書くことの中心を明確にして書いていく。【書(1)イ】

### 3 単元について

### (1) 単元の設定

本単元は、小学校学習指導要領「C 読むこと」領域の「イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」を主なねらいとしている。そして、その「読むこと」の学習を生かして、「B 書くこと」領域の「イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること」をねらいとして、説明する文章を書いていく。

本単元は、第一次「アップとルーズで伝える」、第二次「クラブ活動リーフレット」を作ろう、第三次『つなしの会』で将来の夢を発表しよう」という2つの教材と他教科の行事の取組も合わせて学習を進めていく。

第一次では、説明文を書くためのマニュアル「写真を使って説明するガイド」を作っていく。「アップとルーズで伝える」で、それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているのかを考えながら読んでいく。また、写真と対応した部分に注意して読み、「アップ」と「ルーズ」を対比させながら読ませ、それぞれの特徴を整理していく。第二次では、自分が将来就きたい職業についての本やその仕事に関わる人の話が載っている本、またその仕事の達人や名選手などの伝記を読み、「写真を使って説明するガイド」を参考に「お仕事リーフレット」を作っていく。さらに第三次では、『つなしの会』において「お仕事リーフレット」を活用し、保護者の方々や地域の方々の前で「自分の将来の夢」を発表させるという活動につながる。

「アップとルーズで伝える」で学んだ、伝えたいことに合う効果的な写真の選び方と、伝えたいことと写真に合った説明文の書き方は、リーフレットだけでなく、新聞やパンフレット作りにも生かしていくことができる。さらに理科の実験のまとめなど他教科での学習活動の中でも、分かりやすい説明的文章の書き方として適用できる教材だといえる。

## （２）指導内容の系統について

3年11月  
【読む】せつめいのくふうについて話し合おう  
「すがたをかえる大豆」  
【書く】れいをあげてせつめいしよう  
「食べ物のみみつを教えます」

〈本単元〉 11月

【読む】段落どうしの関係をとらえ、説明の仕方について考えよう

【書く】説明の仕方を工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう

『つなしの会』で将来の夢を発表しよう！

～お仕事リーフレットを作ろう～

「アップとルーズで伝える」

「クラブ活動リーフレット」を作ろう

4年1月  
【読む】きょうみをもったところを中  
心にしょうかいしよう  
「ウナギのなぞを追って」

5年11月

【読む】説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう「天気を予想する」

【書く】理由づけを明確にして説明しよう  
「グラフや表を用いて書こう」

### (3) 児童の実態

本学級の児童は37名。

#### ① 同系統の前単元の学習から

児童は「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」において、「中心となる語や文をとらえ、段落どうしの関係を考えながら読む」学習をしている。また、「絵と文章を対応させて読む」学習もしている。その時の言語活動は、「食べものへんしんブック」を作成している。自分が紹介したい食材を選び、自分が驚いた調理法を説明した文章を集めた冊子である。絵や写真、文章を用いて、事例の順序を工夫するといった組み立てで作成している。その学習で、指示語や接続語の役割を理解し、段落相互のつながりを考えて使うことはできている。しかし書いたものを見直す段階で、アドバイスし合う交流活動については、難しいと感じる児童が多かった。

項 目（「すがたをかえる大豆」のミニテスト）	A及びBに達している人数
A段落のつながりを考え、まとめの段落の正しい接続語を選ぶことができる。 A.「このように」	32人
I書かれている内容を正確に読み取っている。 Q.「大豆に多くの食べ方が考えられたわけ3つ」	31人

- ・ アからほとんどの児童が、段落の内容を読み取り接続語を正しく使えているが、数名が段落ごとに内容をとらえないままに接続語を選んでいいることが分かる。
- ・ イから問われていることに対しての答えがどこにあるか理解している児童がほとんどであるが、文章のまとまりの中から内容をとらえ理由を3つ書くことが正確にできていない児童がいることが分かる。

#### ② 平成28年度7月の実態アンケート結果と考察

質 問	とても	まあまあ
①国語の学習は楽しいですか。	12人	18人
②友達のいけんを聞いて、自分の考えがふかまった（たしかになった）ことがありますか。	7人	14人
③文しょうを読むときに、書いた人の言いたいことを考えて読んでいますか。	10人	18人
④読書を前よりよくするようになりましたか。	13人	18人

- ・ ②については、自分の意見を持ち、友達の意見と比べながら聞くことができる児童が多い。友達の意見との違いに気付くことはできるが、意見を交流し自分の考えを深めることはできていない。どう深まったか、具体的な例を挙げたり、視点を与えてどう変わったか変化をとらえさせたりするような工夫が必要だと思われる。
- ・ ③の結果より、文章の構成や段落のつながり方を意識せずに読んでいる児童が多いと思われる。指示語や接続語に着目させるなど、読みの視点を与え、段落ごとに読み取ることが必要である。
- ・ 「引用する」ことについては、1学期の「動いて考えてまた動く」の単元で行っており、ほとんどの児童ができるようになっている。

### (4) 指導上の留意点

- 児童の実態を踏まえて文章の構成や段落を意識させるため、「初め・中・終わり」を意識したツール作りを行う。
- 児童の意欲を向上させるため、学習のゴールを『つなしの会』での将来の夢発表という形にし、児童の意欲を持続させるため、「読む」「書く」単元と行事とを関連させ進めていく。
- 学んだことを次の学習に活用させるために、「写真を使って説明するガイド」作りを行う。その際、「使いたい言葉」についてもまとめさせ、自分のリーフレットづくりに生かせるようにする。
- 特に本時では、文章に合った写真を選ぶために、アップなのかルーズなのか、どんな人の表情がいいか、写っているものは何があるといいかなど写真を比較させ、選んだ根拠を明確にし、交流をする場を設ける。
- 関連図書では、自分が将来就きたい職業に関する内容やその仕事の魅力、実際にその仕事に就いている人の体験や伝記などを複数読むようにする。それらの本を読む期間を事前に十分に取る。その際、仕事に就きたい理由を複数選び、その中から書きたいことを選びやすくするために、付箋を貼らせ、活用させる。
- リーフレットづくりでは、より詳しい情報を得らせるため、その仕事をしている人に可能な限り実際にインタビューしたりするなど、総合的な学習の時間と合わせて計画する。

#### 4 単元の目標と評価規準

単元の目標		◎自分のリーフレットの構成の参考にするために、それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。 <b>【読むこと(1)イ】</b> ○目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、必要に応じて引用したり要約したりすることができる。 <b>【読むこと(1)エ】</b> ◎書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。 <b>【書くこと(1)イ、ウ】</b>		
単元を通して位置付ける言語活動		「自分が将来就きたい職業について『お仕事リーフレット』に書いて『つなしの会』で紹介する言語活動」を通した指導		
評価規準	国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
	①写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。 ②分かりやすく説明するために、写真を選んだり、文章を書いたりしようとしている。	①自分のリーフレットの構成の参考にするために、それぞれの段落の役割と文章構成をとらえ、本文の内容から理解している。(1)イ ②写真と本文の対応関係を理解している。(1)エ	①文章全体の構成を理解し、書くことの中心を明確にして書いている。(1)イ ②選んだ写真と文章を対応させて書いている。(1)ウ	①指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解している。 ②句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。

#### 5 単元指導と評価計画（【読】8時間取扱い・本時6時間目【書】8時間取扱い）

次	時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価基準及び評価方法
事前に、将来就きたい職業を決めておく。				
1	1	○『つなしの会』において「お仕事リーフレット」を活用し、保護者の方々や地域の方々の前で「自分の将来の夢」を発表するということを知り、学習の見通しをもつ。	・昨年度の『つなしの会』の様子をスライドショーにまとめ、学習の見通しをもたせる。	<b>【関①】</b> （発言・観察・ノート） 職業について説明されているリーフレットを作り、『つなしの会』で発表するという活動に興味をもっている。
読む 2	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">パズル方式</div> ○「アップとルーズで伝える」のp34、35の写真を見て、それぞれの写真から分かることを話し合う。全文を読み、「説明の仕方の工夫を見付けよう」という学習課題を設定し、読みのめあてを立てる。	・全文シートを活用し、段落を付けさせ、何について書かれているのか、大まかにとらえさせる。	<b>【関①】</b> （発言・観察・ノート） 説明文の書き方に関心をもち、「アップとルーズで伝える」の説明の特徴（対比）を見付けようとしている。
	3	○指示語や接続語に着目して、段落相互の関係をとらえる。	・「アップ」と「ルーズ」のどちらについての説明なのか読み取らせ、段落の関係をとらえさせる。	<b>【言①】</b> （発言・全文シート） 指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解し、文章全体の構成と段落相互の役割を理解している。
	4	○段落の役割をとらえ、筆者の伝えたいことをまとめる。	・対比させながら説明していく書き方のよさに着目させ、8つの段落をまとめさせる。	<b>【読①】</b> （発言・ノート） 対比しながら述べる説明の仕方のよさをとらえ、筆者の伝えたいことを理解している。
	5	○『つなしの会』で発表することに向けて、「アップ」と「ル	・「アップ」と「ルーズ」の撮り方の特徴、その写	<b>【読②】</b> （発言・写真を使って説明するガイド学習シート）

読む 2		ーズ」を使って説明するよさをそれぞれ「写真を使って説明するガイド」にまとめる。		関 連 図 書	真で分かること、分からないことをそれぞれまとめさせる。	写真と文章を対応させながら読み取っている。
	6 本時		○『つなしの会』で発表することに向けて、新聞の「仕事に技あり」「子ども新聞」の欄を活用して、文章に合う写真の選び方を考える。【写真の選び方】		・写真の選び方を考えていき、写真を選ぶポイントをまとめさせる。	【読②】（発言・写真を使って説明するガイド学習シート） 伝えたいことに合う写真を文章を読んで選んでいる。
	7	○『つなしの会』で発表することに向けて、説明するポイントについて教科書の「クラブ活動リーフレット」を参考に「写真を使って説明するガイド」にまとめる。			・「クラブ活動リーフレット」を初め・中・終わりに分け、内容をとらえさせ、説明するときに使いたい言葉をまとめさせる。	【読①】（発言・写真を使って説明するガイド学習シート） 分かりやすく説明するための文章構成を理解し、使いたい言葉を見付けようとしている。
	8		○『つなしの会』で発表することに向けて、新聞の「仕事に技あり」「子ども新聞」の写真を使い、写真に合った文章の書き方を考える。【文章の書き方】		・前時に学習した、初め・中・終わりの構成や言葉を使い、文章を考えさせる。	【書②】（発言・写真を使って説明するガイド学習シート） 分かりやすく説明するための文章構成や使いたい言葉を使い、文章を考えている。
書く 2	1	○『つなしの会』で発表することに向けて、「将来の夢 仕事リーフレット」を作る見通しをもつ。	写真集めやインタビュー活動など、資料集めを同時に行う。	・「お仕事リーフレット」をもう一度見せ、学習の見通しをもたせる。	【関②】（発言・観察・ノート） 情報の説明や紹介の仕方に興味をもち、学習の見通しをもっている。	
	2	○リーフレットの構成を考える。		・初め・中・終わりで、中の内容を考えさせる。	【書①】（リーフレット下書き学習シート） 文章全体の構成を理解し、書くことの中心を明確にしている。	
	3	○伝えたいことに合う写真を選ぶ。		・いくつか選んだ写真の中から、伝えたいことに一番合う写真を選ばせる。	【関②】（観察・発言） 伝えたいことに合う写真を選んでいく。	
	4・5	○リーフレットの内容を下書きする。		・写真と文章を対応させて、「お仕事リーフレット」の下書きを完成させる。	【書①】（学習シート） 文章全体の構成を理解し、書くことの中心を明確にして書いている。 【書②】選んだ写真と文章を対応させて書いている。	
	6	○書いたものを見直し、推敲する。		・段落を意識させ、改行させる。	【言②】句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。	
	7・8	○清書し、リーフレットを仕上げる。 ○学習を振り返り、付いた力を確認する。		・丁寧な字で書かせる。	【関②】丁寧に清書している。	
3	※書き上げたものは、『つなしの会』（総合的な学習の時間）で将来の夢として発表する。					

## 6 本時の学習

- (1) 目標 文章に合う写真を選ぶことを通して、写真と文章の対応関係を理解することができる。  
 (2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	○主な発問や指示 ・指導上の留意点 ◆評価	備考
つかむ 5分	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 【一斉】 伝えたいことにぴったりの写真を選ぼう。	・伝えたいことに合う写真の選び方を学習することを伝える。	写真を使って説明するガイド
分 か る 25 分	2 文章①を読み、内容の中心をとらえ、アップの写真とルーズの写真のどちらがいいか考える。 【一斉】	○今日は、伝えたいことにぴったり合う写真の選び方について学習しましょう。 ・はじめの部分を読み、「ヘアメイクアーティスト」の仕事について大まかに伝える。 ・①の文章を読み、写真を見せずに、アップの写真とルーズの写真のどちらがいいか、イメージをもたせる。	文章例 学習シート
深 め る 10 分	3 3つの写真から、文章①に合った写真を選ぶ。 (1) それぞれに選んだ理由を考える。 【個人】 (2) 写真を選んだ根拠となる言葉に付箋を貼る。 (3) 考えたことを発表する。 【一斉】	○この文章にどの写真がぴったり合いますか。 <b>徹底指導 (ポイント)</b> ◎写真を選ぶ根拠となるような言葉に線を引かせ、全文掲示の同じ場所に付箋を貼らせる。 ・文章に合わない写真があれば、なぜそう思うのか理由を聞く。 ・残り2つの写真を比較させながら、説明させる。 ・選んだ理由が文章で書けない場合は、同じ場所に付箋を貼っている児童の意見を参考にさせる。	写真3枚 (ヘアメイクアーティスト)
	4 文章②を読み、どんな写真がぴったりか考える。 【個人】→【一斉】	<b>能動型学習 (ポイント)</b> ◎学習したことをもとに、文章を読み、ぴったりの写真をイメージさせる。 ・書き手の伝えたいことをとらえさせ、どんなものが写っている写真がいいか、人物は写っていた方がいいか、表情はどのようなものがいいかを考えさせる。 ・板書を確認しながら、自分の言葉でまとめさせる。	文章例
	5 自分が伝えたいことにぴったりの写真の選び方を「写真を使って説明するガイド」にまとめる。 【写真を選ぶポイント】 ①伝えたいことを確認する。 ②アップの写真にするかルーズの写真にするかを考える。 ③人は写っていた方がいいか、写っているなら、どんな表情がいいか、周りに写っているものは何がいいかなど、伝えたいことに合う写真を選ぶ。	<b>◆読むこと② (学習シート・発表)</b> B：分かりやすく説明するための写真を、文章中の言葉などから根拠をもって選ぼうとしている。 (Bに達しない子への手立て) 写真を選ぶポイントとなるような文や言葉に線を引かせ、写真を選ぶポイントに沿って選ばせる。	
5 振り返り 分	6 本時の学習を振り返り、次時の学習を知る。 【一斉】	○次時は、説明の仕方について考えていきましょう。	学習計画表

